

「地学基礎」シラバス

学科	普通科	学年	1 年	類型		組	1 ～ 4 組	単位数	2
使用教科書	地学基礎 (啓林館)								
副教材等	地学基礎の基本マスター四訂版 (啓林館)								

1 学習の到達目標

① 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。
② 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。自然の事物・現象の過程や結果を的確に記録・整理し、科学的に探究できるか。	
思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるか。	
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、科学的に探究しようとしているか。	
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1) グループワークへの参加状況 (2) 教師の質問に対する応答 (3) 実験・観察に取り組む態度 (4) 実験プリント	
課題などの提出状況	(5) 日々の課題 (6) 長期休業中の課題 (7) 考査発表中の課題	
レポート	(8) 探究活動によるレポート	
ペーパーテスト	(9) 定期考査 (10) 小テスト	
自己評価シート	(11) 自己評価シートによる振り返り	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第1部 固体地球とその活動 1 地球	- 地球の概観について学び、その内部構造について理解する。 - 地球の内部には層構造があり、その状態が異なることを理解する。	(3) (4)
	2 活動する地球	プレートと地球の活動について学び、地質構造、変成岩の形成、地震、火山活動、火成岩の形成について理解する。	(11) (3) (4)
	第2部 大気と海洋 1 大気の構造	地球全体として大気を通して出入りする太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解する。	(6) (11) (8)
二 学 期	2 太陽放射と大気・海水の運動エネルギー	大気と海洋の大循環について学び、太陽放射の受熱量の変化などから、地球規模で熱が輸送されていることを見いだして理解する。	
	3 日本の天気	日本で見られる冬から春、夏から秋への季節の気象について学ぶ。	
	第3部 移り変わる地球 1 地球の誕生	宇宙の誕生、及び太陽系の誕生について学び、地球が太陽系の一員として誕生し、生命を生み出す条件を備えた惑星となった過程を理解する。	(11) (3) (4)
三 学 期	2 地球と生命の進化	地層や化石に関する観察などを行い、古生物の変遷などに基づいて古生代、中生代、新生代の地質時代が更に区分されることを理解する。	(6) (11) (8)
	3 地球史の読み方	堆積岩とその形成や地層について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。	
	第4部 自然との共生	- 地球環境の変化を見だし、その仕組みを理解するとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて認識する。 - 地球温暖化、オゾン層破壊、エルニーニョ現象などについてのしくみを学び、人間生活に関連していることを理解する。	(6) (11)

備考 (1) (2) (5) (7) (9) (10)については、全ての単元において評価項目として用いる。